

奈良県指定文化財調査票

調査日	2021 年	6 月	26 日	記入者	垣内 博久
調査者名	饗庭	垣内	久門		

文化財名	芝塚古墳				
種類	<input checked="" type="checkbox"/> 史跡	<input type="checkbox"/> 名勝	<input type="checkbox"/> 天然記念物	<input type="checkbox"/> 有形民俗文化財	<input type="checkbox"/> その他 ()
指定年月日	1986年(昭和61)3月18日				
所在地	葛城市兵家芝塚595				
所有者 管理者	個人				
員数	1基				
時代区分	古墳時代後期の6世紀前半				
樹木の場合	(樹木名)			(樹齢)	
案内板の状況	悪い(ほとんど読めないか読めない)				
公開	公開				
保存状態	<input type="checkbox"/> 非常に良い	<input type="checkbox"/> 良い	<input checked="" type="checkbox"/> 普通	<input type="checkbox"/> 悪い	<input type="checkbox"/> 非常に悪い
	補足 ()				
当面の課題	説明板、表示板(木棺直葬墓、後円部)の再製。説明板がほとんど読めなく、光の角度でかろうじて読める。木棺直葬墓の表示板が読めないため置き石の意味が不明。後円部の表示板もほぼ読めない。当日は見つけれなかったが、2号墳石棺の表示板は雑草に埋もれており、表示も読めない。				
今後の課題	後円部の埋葬施設の調査が期待される。周囲は石で養生されており崩れる恐れはないように思われる。				
その他 (由緒など)	従来より知られた円墳の芝塚古墳があり、その東に周囲より一段高くなった方形の田があった。1985年(昭和60)の調査で前方後円墳が明らかになったのが芝塚1号墳で、現在は芝塚古墳と呼ばれる。西100mに従来は芝塚古墳として知られていた芝塚2号墳があり、現在は埋め戻され石棺は1号墳北側で展示。芝塚古墳は全長50m、後円部径35m、前方部幅20m。前方部に木棺直葬墓があり、後円部の埋葬施設は未調査。				
コメント	個人所有の土地(所有者が作成したと推察される供養碑が建っている)にある古墳であり、管理は所有者まかせと思われる。古墳を夏場に訪れて思うことだが、夏草に覆われて古墳の形状がわからなかったり、そもそも古墳かどうかもわからないケースがある。				

奈良県指定文化財調査票(写真)

調査日	2021 年	6 月	26 日	記入者	垣内 博久
調査者名	饗庭	垣内	久門		

文化財名	芝塚古墳
------	------

全景(南から)	後円部
---------	-----



説明板



案内板(後円部)



木棺直葬墓の位置を示すと思われる石と案内板



2号墳石棺

